

平成 29 年度再評価対象事業箇所  
(対象：平成 24 年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済 情勢等の変化	費用対効果 の要因の変化	CO2削減や代替案 等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)
	再評価 時点 H24	道路整備交付機 事業(社会資本 整備総合交付 金)  一般県道江北芦 刈線(江北・牛 津・芦刈工区)  事業主体：県 事業地：江北町 佐留志～小城市 芦刈町道免	本路線は、江北町と小城市 芦刈町を結び、有明海沿岸 道路と連携することによ り、佐賀県西部地域と佐賀 市、九州佐賀国際空港との 連絡強化が期待される重 要な道路である。 しかしながら、現道は幅 員が狭く、車両の通行に支 障を来していることから 早急な対応が求められ ている。 このため、バイパス整備 により、交通の円滑化及び 交通安全の向上を図ると ともに、混雑している国道 34号の交通混雑緩和に も寄与するものである。	全体事業費：125.9億円  工期：H10～H25  事業内容： 延長 L=4,600m 幅員 W=13.0(25.0)m  改良工 L=4,211m 舗装工 L=4,600m 橋梁 2橋(389m) 測定 1式 用地補償 1式	H23末進捗率：約84% (事業費ベース) (年平均進捗率6%)  H24年度末に暫定形で供用。	・平成24年度末に当該事 業区間を暫定形で供用し ており、国道34号から交 通の転換が図られた。  ・有明海沿岸道路の整備 により、更なる交通量の 増加が見込まれる。	事業採択時と 比較して大きな 要因の変化は見 られない。  B/C = 2.55	(CO2削減) ・再生資材の利用 促進を図ってい る。  ・工事で発生する 残土を盛土等に流 用する。  (代替案の検討) ・特になし	再評価実施後 5 年が経過のため 再評価	継続  (理由) 車両通行に よる危険な状 況が解消され ていないため、 事業を継続し 交通の円滑化 及び自転車や 歩行者の安全 確保を図る。
	現時点	同上	同上	全体事業費：140.3億円  工期：H10～H35  事業内容： 延長 L=4,600m 幅員 W=13.0(25.0)m  改良工 L=4,211m 舗装工 L=4,600m 橋梁 2橋(389m) 測定 1式 用地補償 1式	H28末進捗率：約94% (事業費ベース) (年平均進捗率5%)  用地補償契約 約99%		全体事業費増 額と工期延伸に よる費用便益費 の減  B/C = 1.44	同上	再評価実施後 5 年が経過のため 再評価	継続  (理由) 当該箇所の 事業の必要性 に変化がなく、 交通の円滑化 と交通安全を 図るため、事業 を継続したい。
	理由等				・対面通行の暫定供用で 完了予定としていた区 間において、供用後の交 通変化を踏まえ、中央分 離帯を設けた形での完 成供用とするための工 事費の増及び工期の延 伸。 ・事業損失補償費の見直 しによる補償費の増。					

